



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL http://www.sr-net.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布目 秀樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画広報室 (氏名) 北野 孝司 (TEL) (052)-413-6820
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,847	7.0	337	△17.2	334	△17.3	231	△16.4
29年3月期第2四半期	5,464	9.0	408	57.4	404	47.7	277	50.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 237百万円 (△15.7%) 29年3月期第2四半期 281百万円 (53.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	55	48	—	—
29年3月期第2四半期	66	40	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,837	53.4	4,189	53.4	—	—
29年3月期	7,653	54.0	4,140	54.0	—	—

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,186百万円 29年3月期 4,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,520	8.4	1,116	18.9	1,114	20.4	757	18.0	181	13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	4,180,000株	29年3月期	4,180,000株
② 期末自己株式数	752株	29年3月期	752株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4,179,248株	29年3月期2Q	4,179,248株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成29年11月15日(水)に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	10
② 外注実績	10
③ 仕入実績	10
④ 受注実績	11
⑤ 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀が発表した平成29年9月の短観（企業短期経済観測調査）によれば、大企業製造業における業況判断指数（DI）は前回6月調査から5ポイント上昇のプラス22ポイントとなり、4期連続で改善しました。また、産業別では、大企業自動車製造業における業況判断指数（DI）は、前回6月調査では小幅に悪化しましたが、今回調査では2ポイント上昇のプラス18ポイントと改善しました。大企業製造業の想定為替レートが円安に修正されたことなどから、景況感を押し上げているものとみられます。

一方、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、情報サービス業の売上高合計は平成29年7月まで12か月連続して前年同期比増で推移してきたものの、8月には前年同月比0.2%減と減少に転じました。内訳では主力の「受注ソフトウェア」は、同2.2%減少、「ソフトウェアプロダクト」は同9.1%増加、「システム等管理運営受託」は同2.7%増加となりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、企業のシステム構築を中心とするSIサービス業務は、自動車関連製造業をはじめ製造業やサービス業などからのIT投資需要が堅調に推移しましたが、顧客の要求に対応できる技術者が昨年来よりひっ迫していることなどから、売上高は2,594,224千円（前年同期比4.1%減）となりました。また、ソフトウェア開発業務では、既存顧客からの継続受注を安定的に確保でき堅調に推移したことに加え、新規顧客などからの案件を積極的に受注した結果、売上高は2,987,592千円（前年同期比20.3%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、通販業者からの引き合いが多いCTI（コンピュータ・テレフォニ・インテグレーション）関連商品などで売上が回復し、売上高は196,042千円（前年同期比4.6%増）、商品販売では、パソコンやネットワーク機器などで53,936千円（前年同期比32.8%減）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等での売上高は16,196千円（前年同期比112.0%増）となりました。

利益面におきましては、顧客のIT投資が引き続き堅調に推移していることなどから、高いSE稼働率を維持しております。また、経費削減、PRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動に取り組みましたが、一部で低収益となったプロジェクトが発生し、利益を押し下げました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,847,993千円（前年同期比7.0%増）、営業利益337,895千円（前年同期比17.2%減）、経常利益334,496千円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益231,896千円（前年同期比16.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金および仕掛品が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ184,741千円増加し、7,837,815千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、賞与引当金が減少したものの、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ135,693千円増加し、3,648,594千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当を行ったものの、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ49,047千円増加し、4,189,220千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ548,588千円増加し、3,302,184千円（前年同期末は2,427,008千円）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、609,872千円（前年同期は180,987千円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益332,658千円、売上債権の減少額475,540千円などの増加要因が、たな卸資産の増加額123,191千円、法人税等の支払額136,233千円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、41,032千円（前年同期は63,625千円の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出40,419千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、20,251千円（前年同期は150,914千円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入950,000千円、長・短期借入金返済による支出782,185千円や配当金の支払額188,066千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,788,798	3,337,387
受取手形及び売掛金	2,691,663	2,211,372
商品及び製品	3,492	3,009
仕掛品	102,988	226,662
貯蔵品	5,169	5,169
その他	259,027	263,148
貸倒引当金	△268	△220
流動資産合計	5,850,872	6,046,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	508,230	492,923
土地	604,806	604,806
その他（純額）	15,616	13,195
有形固定資産合計	1,128,653	1,110,926
無形固定資産		
ソフトウェア	178,816	178,082
その他	8,062	7,969
無形固定資産合計	186,878	186,052
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	246,066	250,981
その他	240,602	243,324
投資その他の資産合計	486,669	494,306
固定資産合計	1,802,201	1,791,284
資産合計	7,653,073	7,837,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	464,623	439,160
短期借入金	—	173,336
1年内返済予定の長期借入金	863,070	860,363
未払法人税等	177,475	129,524
賞与引当金	535,326	474,877
受注損失引当金	26,155	6,212
その他	611,414	730,819
流動負債合計	2,678,066	2,814,293
固定負債		
長期借入金	757,303	754,489
その他	77,531	79,812
固定負債合計	834,834	834,301
負債合計	3,512,900	3,648,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	3,092,622	3,136,452
自己株式	△500	△500
株主資本合計	4,159,821	4,203,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,811	9,547
退職給付に係る調整累計額	△30,229	△26,770
その他の包括利益累計額合計	△22,418	△17,222
非支配株主持分	2,770	2,790
純資産合計	4,140,172	4,189,220
負債純資産合計	7,653,073	7,837,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,464,199	5,847,993
売上原価	4,315,318	4,729,209
売上総利益	1,148,880	1,118,783
販売費及び一般管理費	740,640	780,888
営業利益	408,239	337,895
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	103	111
助成金収入	1,385	1,086
その他	689	641
営業外収益合計	2,182	1,845
営業外費用		
支払利息	5,266	5,129
その他	232	114
営業外費用合計	5,499	5,243
経常利益	404,922	334,496
特別損失		
固定資産除却損	1,606	160
投資有価証券評価損	—	1,676
事務所移転費用	6,620	—
特別損失合計	8,227	1,837
税金等調整前四半期純利益	396,695	332,658
法人税等	119,911	100,741
四半期純利益	276,783	231,917
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△722	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,505	231,896

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	276,783	231,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,014	1,736
退職給付に係る調整額	3,714	3,459
その他の包括利益合計	4,729	5,196
四半期包括利益	281,512	237,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,234	237,093
非支配株主に係る四半期包括利益	△722	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	396,695	332,658
減価償却費	66,837	58,325
賞与引当金の増減額(△は減少)	△109,096	△60,448
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△19,943
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△14,527	63
売上債権の増減額(△は増加)	△122,623	475,540
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,945	△123,191
仕入債務の増減額(△は減少)	45,412	△25,803
未払消費税等の増減額(△は減少)	△119,010	46,020
その他	△3,367	68,293
小計	△4,626	751,515
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△170,912	△136,233
その他	△5,449	△5,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	△180,987	609,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,988	△712
無形固定資産の取得による支出	△38,635	△40,419
その他	△1	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,625	△41,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△270,000	△276,664
長期借入れによる収入	300,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△505,537	△505,521
配当金の支払額	△125,377	△188,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150,914	△20,251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△395,527	548,588
現金及び現金同等物の期首残高	2,822,535	2,753,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,427,008	3,302,184

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,748,583	95.2
ソフトウェア開発業務	2,987,592	120.3
ソフトウェアプロダクト業務	196,042	104.6
その他	16,196	212.6
合計	5,948,415	106.9

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 外注実績

当第2四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	外注高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,038,231	96.3
ソフトウェア開発業務	1,156,917	137.5
ソフトウェアプロダクト業務	15,711	143.8
その他	46	4.5
合計	2,210,906	114.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
商品販売	42,309	64.0

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
SIサービス業務	2,832,609	78.2	1,894,984	91.5
ソフトウェア開発業務	3,038,575	115.0	938,617	114.9
ソフトウェアプロダクト業務	256,529	164.1	68,116	1,069.1
商品販売	77,669	59.3	29,858	53.2
合計	6,205,382	94.7	2,931,576	99.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

⑤ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
SIサービス業務	2,594,224	95.9
ソフトウェア開発業務	2,987,592	120.3
ソフトウェアプロダクト業務	196,042	104.6
商品販売	53,936	67.2
その他	16,196	212.0
合計	5,847,993	107.0

(注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱トヨタコミュニケーションシステム	702,590	12.8	830,267	14.1

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。